

専攻科海事システム工学専攻
■就職先 (株)朝日工業社、東海運(株)、(独)海技教育機構、日本海曳船(株)、(株)堀江商会
商船学科
■就職先 (株)IHI原動機、(株)朝日工業社、出光興産(株)、上野トランステック(株)、(株)宇徳、NSユナイテッド内航マリン(株)、(株)エムエスケイ、川崎汽船(株)、共栄マリン(株)、新日本海フェリー(株)、第一中央内航(株)、(株)ダイキンアプライドシステムズ、東幸海運(株)、東レ(株)、新潟造船(株)、日本海運(株)、日本ゼオン(株)、早駒運輸(株)、琵琶湖汽船(株)、福寿船舶(株)、ヤンマーエンジニアリング(株)、YKK AP(株)
■進学先 東京海洋大学海洋工学部・海洋資源環境学部※、神戸大学海事科学部、長岡技術科学大学工学部、富山高等専門学校専攻科
※ 専攻科 海事システム工学専攻との連携教育プログラムによる



5年 航海学ゼミ



4年 海上交通



3年 カッターレース大会



6年 乗船実習



今できることを精一杯に

副校長
総務担当
高田英治

新型コロナウイルスの感染状況がなかなか落ち着かない中で、学生の皆さんも将来のことを考えると不安かもしれません。ただ、いろいろな格言で言われているように、今できることを明日に回さず、今日精一杯行うことが重要ではないかと思ひます。学校生活では、各学年での勉強や実験・実習に、その時々で集中して取り組んで下さい。会社に入れば実験・実習の経験が役に立ちますし、大学・大学院で学ぶ学問の基礎は皆さんが今、学んでいる内容です。今できる勉強をしっかりとやって下さい。

また、皆さんが安心して勉強できるよう、ご家族は毎日、サポートしてくれています。一方で、ご家族が忙しく働かれる際の支えになっているのは学生の皆さんの存在です。皆さんの年代では、ご家族との会話も少ないかもしれません。でも、恥ずかしくても、お互いに「今日」感謝の気持ちを伝え、協力してこの見えにくい状況を乗り越えていってください。



やりぬくためのバランス

副校長
ワンカレッジ化担当
山本桂一郎

東京2020、甲子園、インターハイなどの大会や芸術文化の公演など、完全な形ではないものの、感染症対策を優先し実施されてきています。一方で、コロナ感染者数は激増し、政府は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置発出を行い拡大の防止に努めています。どちらが正しいのかと思うかもしれませんが、それぞれの目線で見ると、「感染症対策を行っているのだから日ごろの成果を発揮できる貴重な機会を奪う権利はない」「家族や他者への影響、医療体制ひっ迫など、自粛をするのは当然」となります。このように、立場によって意見が対立するのは普通の事です。学生の皆さんは、将来のやりたいことへ突き進んでいることと思ひます。目標に向かってやりぬくためには、個の努力はもちろんのこと、理解し助けてくれる仲間を増やさなくてはいいけません。理解を得るということ、いろいろな見方や考え方、立場を理解し許容していくということです。ぜひバランスをとるポイントを探してほしいと思ひています。新しい気づきがあるはずですよ。

学校への連絡先	【本郷キャンパス】	【射水キャンパス】
代表連絡先	〒939-8630 富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402 FAX 076-492-3859	〒933-0293 射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5100 FAX 0766-86-5110
欠席・遅刻の連絡	教務課教務担当：TEL 076-493-5405	教務課教務担当：TEL 0766-86-5145
授業料免除・奨学金	学生支援課	学生支援課
課外活動	学生担当：TEL 076-493-3590	学生担当：TEL 0766-86-5135
学生寮関係	学寮担当：TEL 076-493-5499	学寮担当：TEL 0766-86-5133
FAXによる連絡	上記共通 : FAX 076-493-5488	上記共通 : FAX 0766-86-5130



富山高専に誇りをもって

副校長
教育担当
塚田 章

皆さんは高専が企業や大学から高く評価されていることを耳にするとと思ひます。最近ではこれに加え、萩生田文部科学大臣が自ら「高専応援団」と称し、中学卒業後に5年間の実践的技術者教育を行う高等専門学校の仕事は、ものづくり産業を支えてきた最高のシステムであり、急速に進むデジタル化社会にも必要不可欠な学校であると述べられています。さらに、「高専卒に大卒並みの給与を」と提言されています。

高専にこのような追い風が吹く中、本校はデータサイエンス・AI教育、支援技術の教育研究など多くの事業の拠点校として全国高専を先導しています。また、本校の数理・データサイエンス・AI教育プログラムは、全国の大学高専の中で初めての認定を受けています。現在、最高の教育環境をもつ富山高専で学ぶ皆さんには、自分の力を存分に伸ばしていただきたいと思ひます。そして、富山高専生であることに誇りをもって社会で活躍されることを期待しています。



富山高専に赴任し、今思うこと

事務部長
山内浩一

今年、富山高専に赴任し、着任早々はまだ雪深い飛騨山脈を見ながら素晴らしい景色の中で仕事ができることを誇らしく思ひ、今も変わりなく充実した日々を過ごしています。仕事柄、学生たちと接する機会は少ないですが、まぎれもない今後の日本を担っていく金の卵たちの成長に少しでも携わっていただけることに限らない喜びを感じています。

すべての事務職員は、少しでも学生たちの力になれば、また、先生たちの力になればと希望して採用されています。わからないことや困ったことがあれば、いつでも気軽に声をかけてください。間違いなく、親切に対応してくれます。また、声をかけられたら何気なくうれしいです。自分だけでしょうか。

さて、コロナ対応については、暫くしたら学生たちもワクチン接種も開始されるかと思ひます。コロナ発生前に戻ることは時間がかかると思ひますが、その中でも充実した学生生活が送れるよう、先生方と協力して構築していきますので、皆で頑張りましょう。よろしく願ひします。

高専通信

商船学科卒業記念号

Vol.34 2021/9
富山高専専門学校広報誌

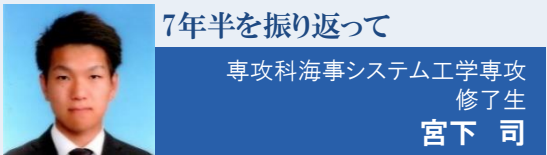
目次

- 1 卒業生・修了生から一言
- 2 卒業生の進路・学校生活風景
- 3 全国大会出場権獲得者紹介
- 4 ニュース&トピックス
- 5 副校長・事務部長からのメッセージ



海事システム工学専攻・商船学科 ご卒業おめでとうございます

専攻科海事システム工学専攻修了生から一言



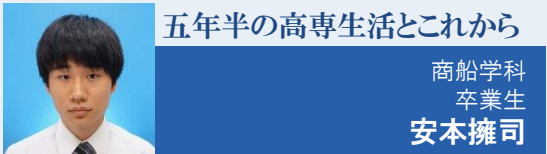
7年半を振り返って
専攻科海事システム工学専攻
修了生
宮下 司

高専に入学してから、7年半の月日を本校で過ごしました。入学当初、本校での在学期間が小学校よりも長くなるとは思っていませんでした。

専攻科入学以降は、新型コロナウイルスの影響でリモートでの授業や特別研究、HRがありました。思うように物事が進まないこともありましたが、関係の皆様サポートのおかげですべての課程を終えることができました。この2年間を振り返ると、たくさんの新しい経験をし、とても楽しく貴重な時間を過ごすことができました。専攻科に進学して、本当に良かったと思っています。

これから先、新しい道を歩み出すと今まで当たり前と思っていたことが通用せず、失敗することもあるかもしれませんが、しかし、そんな時こそ本校で得た経験や知恵を生かし、社会の荒波に負けず精進していきたいと思います。最後になりますが、7年半の間に関わったすべての皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

商船学科卒業生から一言

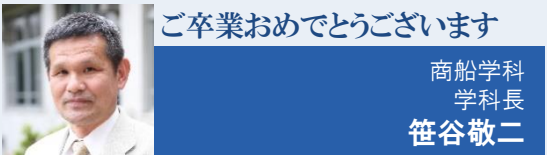


五年半の高専生活とこれから
商船学科
卒業生
安本 擁司

私たち商船学科実習生は本校入学以来5年半の歳月をかけて、大型船舶の運航に必要なスキルやシーマンシップを学びました。これまで、周囲の人から「航海士、機関士ってどのような仕事をするの?」という質問を受けることが多々ありました。この質問を受けると、電車や航空機などの身近な乗り物の運転手や整備士とは異なり、海技者は世間一般からすればマイナーな存在であることを感じ取っていました。それでも、海洋大国である日本にとって、船舶を運航する海技者は日本のみならず世界の物流経済の根幹を支える重要な存在であると、強い自負を持っています。

卒業後、私たちの多くは海事関連の企業や大学、専攻科に進みます。困難や悩みに直面することもあると思いますが、高専生活で得た経験や知識、クラスメイトや先輩後輩、恩師と過ごした本校での思い出を糧にして、それぞれの針路を力強く進んでいきたいと思っています。

商船学科長からお祝いのメッセージ



ご卒業おめでとうございます
商船学科
学科長
笹谷 敬二

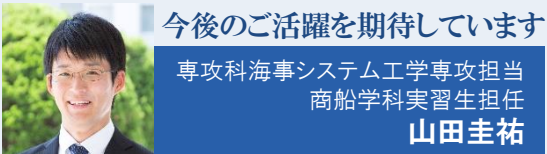
晴れて卒業式に臨まれ、就職、進学とそれぞれの新しい道に漸く踏み出されること、喜ばしいかぎりです。皆さんを支えてくださったご家族の皆様もほご安心なされたことと思います。

1年生の時から、目立つことがとても大好きな学生さんが多く、3年生の副担任の時には、優しい担任のチャーリー先生ともども楽しく、少し強面に接させていただきました。私もとても楽しかったです。ありがとう。

在学中の5年半の間には、いろいろ楽しかったこと、思い出に残ることがあったでしょう。そして、自分が心身共に成長した何らかの証を感じておられることと思います。今感じておられること、そして社会へ乗り出すことへの希望と少しばかりの不安、今の初々しい気持ちを忘れないでください。きっとどこかで思い出すことがあります。

太平洋の水平線から昇る真っ赤な太陽と紺青の海原のように皆様の前途洋々を祈念いたします。

修了生・卒業生担任からお祝いのメッセージ



今後のご活躍を期待しています
専攻科海事システム工学専攻担当
商船学科実習生担任
山田 圭祐

専攻科修了ならびに商船学科卒業、誠におめでとうございます。これから一社員として歩み出す皆さんは、自身が為すことに対して大きな責任を感じるとともに、社会貢献を果たしていることに充実感や達成感を覚えられはらずです。また、数々の経験や苦節を糧に成長を重ね、次第に大きな仕事や大勢の部下を任される立場になっていくと思います。将来的には、海事技術者として会社のみならず国家への貢献についても実直に考え、自身の信念を確立し貫き通してください。

進学する皆さんは学術研究を追求し、その中で多様な背景を持つ研究者と関わり切磋琢磨することと思います。皆さんが多くの刺激を受けながら研究活動に励み、唯一無二の高度な人材に成長されることを期待しています。

海は広大なフィールドでありながら意外と狭い社会ですから、本校の卒業生の様子は私にもよく伝わってきます。「社海人」としての皆さんの活躍ぶりを耳にする日を、心から楽しみにしています。

全国大会出場権獲得者紹介

全国高等専門学校体育大会

陸上競技	男子200M	C2喜多 健士郎
	男子400M	E1本田 聖人
	男子110MH	E3川縁 輝
	男子4×100Mリレー	M5齊藤 樹
		C5小林 里輝
		M4大久保 匠
		C2喜多 健士郎
		C2鍋島 一星
男子4×400Mリレー		E1本田 聖人
		M4大久保 匠
		M2阿部 真央
		M2山室 勇葵
		C2喜多 健士郎
		C2鍋島 一星
		E1本田 聖人
		C2鍋島 一星
男子走幅跳		C2鍋島 一星
		M1加藤 暖都
		C4砂原 功武
		C2河原 茉世
男子棒高跳		E5宮武 未歩
		E5宮武 未歩
		C3梧桐 綾乃
		E2千葉 仁湖
男子やり投		C2河原 茉世
		C1水島 彩那
		E2千葉 仁湖
		I5谷口 響
男子100M・男子200M		I5濱 新太
		I3大谷 祐貴
		S5五十嵐 海翔
		I5谷口 響
男子5000M・男子3000MSC		I3野 蓮
		S2上月 貴生
		S1佐藤 純之介
		S1寺崎 耀
男子110MH・男子400MH		S5五十嵐 海翔
		S4櫻井 航希
		I4藤城 卓馬
		S3坂野 耀真
男子4×100Mリレー		I2中嶋 永大
		I1鎧 篤希
		I4平野 邑征
		I4藤城 卓馬
男子走高跳		S5福田 健翔
		I4関藤 瑞紀
		I5萩中 七海
		I4関藤 瑞紀
男子棒高跳		K3小竹 凛々花
		K1平田 葉月
		K1舟本 菜都美
		K1横山 実日子
男子砲丸投・男子円盤投		I5西川 瑞佳
		I4直井 保乃花
		S3梅村 彩
		K4五十嵐亮佑
女子200M・女子100MH		K4柿谷 蒼
		I3大毛利寛太
		I2青木陽哉
		I2山田理貴
女子100MH		S2摺崎 杏星
		I2青木 陽哉
		I2山田 理貴
		I2山田 理貴
女子4×100Mリレー		I2山田 理貴
		I2山田 理貴
		I2山田 理貴
		I2山田 理貴

卓 球	男子シングルス	I4平田 怜
	女子シングルス	I1窪 結奈
	女子ダブルス	I1窪 結奈
		I1三國 莉央
水 泳	男子50M自由形	M2岡部 深太
	男子100M背泳ぎ・男子200M背泳ぎ	M2山崎 莉央
	男子200M背泳ぎ・男子200M個人メドレー	M3高井 紅弥
	男子200Mバタフライ	M2牧野 竜也
	女子50M自由形・女子100M自由形	I1高木 凜
	女子100M背泳ぎ・女子100Mバタフライ	S4林 美羽
	女子100M平泳ぎ	I4白石 真菜
	女子200M個人メドレー	S3新谷 花梨
女子4×50Mフリーリレー		I4佐藤 来夏
		S4林 美羽
		S3新谷 花梨
		I1高木 凜
		I4白石 真菜
		S4林 美羽
		S3新谷 花梨
		I1高木 凜
剣 道	男子個人	E2金森 貴陽
	女子団体	K4川合悠月
		S3堀家綾乃
		K2青木海夕
		S2宇尾知花
		K4川合 悠月
		S2宇尾 知花
		M5平田 凌一
柔 道	男子個人無差別級	

全国高等学校総合体育大会

ヨ ッ ト	男子レーザージャイアル級	S1嶋倉 侑司
卓 球	女子シングルス	I1窪 結奈
水 泳	男子400M個人メドレー	M3高井 紅弥

全国高等学校総合文化祭和歌山大会

囲 碁	I3佐々木 智大
吟詠剣詩舞	K3高橋 凜

全国高等専門学校将棋大会

団 体	E5本田 一期
	C4稲垣 比呂
	E4森本 開斗
	E4田村 明人
	C4田辺 拓己
	E3荻原 遠成
個 人	K2上野 脩平

全国高等専門学校プログラミングコンテスト

課題部門	タイトル: T-each other	I4伊藤 尊
		I4今庄 功知
		I4大道 太陽
		I4廣川 輝
		I2市村 啓祐
		E5草 孝祐
		E3大萱 快斗
		I3佐々木 智大
		I3南 理久
		I1土橋 晴人
競技部門	チーム名: PIECEFULL	
	チーム名: 味噌煮	

ニュース&トピックス

全国大会出場

本校では日々、多くの学生が部活動等の課外活動に取り組んでいます。その成果の一つとして、前期には左頁の学生達が全国大会の出場権を獲得しました。

今年度は、関係者の尽力により、コロナ前に近い数の公式戦が実施されています。大半は無観客となっており、現地に行かず、心の中で応援してくださった方々も多いと思います。また、感染状況によって試合が中止されたり、出場を辞退したりして、涙をのんだ学生も少なくありません。このような状況の中でも、前を向いて地道に活動続ける学生達の姿に、大きな成長を感じます。

全国大会は、感染状況の悪化を受けて延期されたものが多く、大半の結果がでていません。そんな中、全国高専大会のテニス個人・団体共に3位という好成績を残しました(写真上)。また、陸上競技部は多数の種目で入賞し、射水キャンパス女子は総合三連覇を果たしました(写真下)。



数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定

6月30日に、本校の教育プログラムが「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されました。この制度は、政府が令和2年度末に募集を開始したものです。

AIが普及したこれからの社会では、これまでの教育課程では教えられていなかった知識が必須となります。このような知識を、文理問わず全ての学生に身に付けてもらうため、全国の大学・高専がそれぞれ教育プログラムを編成しています。その中でも一定の水準を満たすプログラムは、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度審査委員会による審査の上で、この制度で認定を受けることができ、令和3年度に全国の大学・短期大学・高等専門学校で78校が認定されました。さらに、全国のほぼ全ての国立大学が、令和4年度の認定取得に向けて動いています。

本認定制度は経済産業省の後押しも受けており、採用面でのアドバンテージとなることも期待されます。本校は、全国の高等教育機関に先駆けて、就職・進学の両面で学生たちにとって極めて重要な認定を取得したことになります。

なお、平成29年度以降に入学した本科の全学科の学生は、通常の講義を通して自然にカリキュラムを修了できるようになっています。

ミニ北斗祭ラジオ

残念ながら中止になってしまったミニ北斗祭に代わり、実行委員会の委員が主導してミニ北斗祭ラジオを放送しました。放送は6月9日から18日の平日昼休みにTeamsを使って行われ、延べ152名が参加しました。

委員達は、感染防止のため長く続く制約の中、落ち込んでいる学生がいるのではないかと考え、少しでも皆に楽しんでもらえたらと企画を練りました。放送の2日前には原稿を完成させ、当日にはリスナーからのコメントも盛り込んで、日替わりの委員2人とゲストでトークを展開しました。



富山高等専門学校特別講演会

6月28日、本校後援会のご支援により特別講演会が開催されました。講演は、「AIの未来と高専の可能性」と題して、東京大学大学院工学系研究科教授・日本ディープラーニング協会理事長の松尾豊先生にお話しいただきました。冒頭には、学生会の催しとして、吹奏楽部による歌演奏、フリースタイルダンス部による発表も行われました。

感染防止のため、松尾先生には遠隔でお話しいただきました。学生も、オーバードホールと2つのキャンパスに分散して聴講しました。

カッター練習会

5月から7月にかけて、射水キャンパスにてカッター練習を行いました。体育の時間等を利用してクラスごとに練習した後、学年ごとに半日かけて合同練習を行いました。

カッターレース大会は100年以上続く伝統ある行事ですが、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止されました。今年度も、感染防止のためレースは行われませんでした。いつか再開する日のために練習のみ行ったものです。今年度は、1年生だけでなく多くの2年生も初めての体験となりました。權の重さに驚きながら練習に取り組んでいました。

